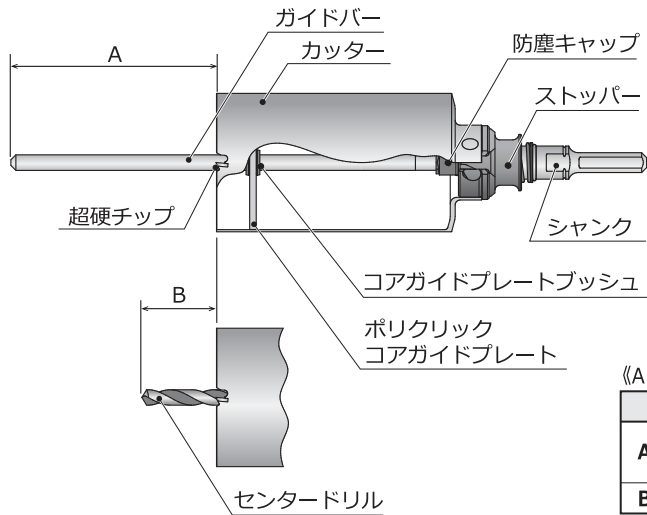




## ● 構成図



※コアガイドプレートブッシュの消耗時は、新品に交換してください。(品番: PCGPB)

《A・B寸法表》

		Sシャंक	Lシャंक
A	ガイドバー-320	145mm	136mm
	ガイドバー-250	75mm	66mm
B	センタードリル	45mm	36mm

## 使用方法

### ● 使用方法

- ①「使用条件」の欄を参考にし、刃先径に適した電動工具を使用してください。
- ②シャंकを電動工具に取り付けてください。  
※シャंकの取り付け方は、ご使用になる電動工具の取扱説明書をご覧ください。
- ③カッターを取り付けていない状態で右項の「センタードリルの着脱方法」をご覧ください、センタードリルをシャंकに取り付けてください。
- ④穴あけ位置中心にセンタードリルを当て、電動工具を回転させセンタードリル穴をあけてください。穴あけ中心位置にポンチなどでポンチングしておくことをお勧めします。  
・センタードリル貫通後にカッターが被削材に急激に当たるのを防ぐために、先にセンタードリル穴だけをあけてください。  
・ハイスセンタードリルを組み込んだ状態で使用すると、センタードリル穴が大きくなりカッターへの食いつきが悪くなる場合があります。先にセンタードリル穴をあけた後、ガイドバーに交換し、穴あけを行ってください。詳しくは、別紙「金属サイディングへの穴あけ」をご覧ください。
- ⑤カッターのシャंकへの取り付けは右項の「カッターの取り付け方法」を参考にして取り付けてください。
- ⑥コアガイドプレートを刃先より少し内側に取り付けてください。
- ⑦カッターが被削材に接した後、切削が安定するまでゆっくりと切り込んでください。  
※なるべくクラッチが作動しないよう、押し込みすぎにはご注意ください。
- ⑧穴あけ完了後、カッターは回転させたまま引き抜いてください。
- ⑨切削片がカッターより出しにくい場合は、カッターをシャंकから外し、棒状の物で刃先側へ押し出してください。

### ● 防塵キャップ

- ・ポリクリックシャंक (S・L・Xシャंक) には、センタードリルやガイドバー挿入口へ切粉が入るのを防ぐために防塵キャップが付いています。(下図)
- ・防塵キャップを装着したままで、センタードリル・ガイドバーの着脱が可能です。

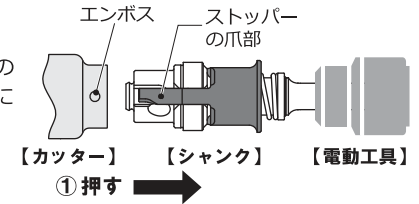
※単品での販売も行っています。  
Sシャंक用 : 品番 PCBCS  
L・Xシャंक用: 品番 PCBCL

防塵キャップ

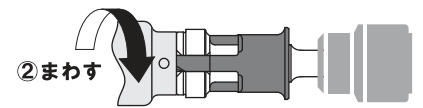


## ● カッター取り付け方法

- ① 電動工具にシャंकを取り付けてください。
- ② カッターのエンボス (丸型凸部) をシャंकのストッパーの爪部に合わせ、そのままカッターをシャंक側 (矢印①) に押します。  
**注** カッターとシャंकに付着している切り粉やごみ等の異物は取り除いてください。

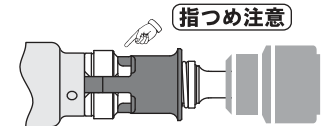


- ③ カッターをシャंक端面まで押し込んだ状態で、カッターを刃先側から見て右方向 (矢印②) に回してください。



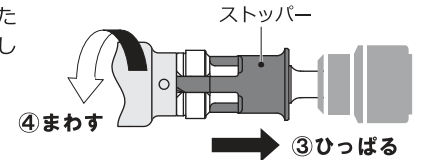
- ④ カチッ音がして、カッターがシャंकに固定されます。最後にカッターを引っ張って、しっかりと固定されたことを確認してください。

- 注** 指を挟まれケガをするおそれがありますので、ストッパーの付近に手を添えないでください。



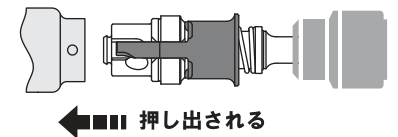
## ● カッター取り外し方法

- ① シャंकのストッパーを電動工具側 (矢印③) に引っ張った状態で、カッターを刃先側から見て左方向 (矢印④) に回してください。



- ② ストッパーを引っ張っている力を少しずつ緩めてください。カッターがストッパーによって押し出され、取り外せます。

- 注** ストッパーから手を離すとカッターが飛び出すので注意してください。高所作業時は落下のおそれがあるので、特に注意してください。



## ● センタードリルの着脱方法 (ガイドバーも同様の方法で着脱できます)

- ① センタードリルをシャंकに挿入してください。(防塵キャップを装着したままでも挿入可能)
- ② センタードリルを回転させながら押し込むと、シャंक内の突起とセンタードリルのL型溝の位置が合いセンタードリルはさらにシャंकの奥まで入ります。
- ③ センタードリルを奥まで押し込んだ状態で、さらに刃先側から見て右方向 (矢印③) に90度回転させて、センタードリルを固定してください。
- ④ 取り付け後、センタードリルを引っ張っても抜けない事を確認してください。  
**注** センタードリルのシャंक挿入部にグリスを塗布してください。センタードリルのL型溝の変形が軽減されます。
- ⑤ 取り外す時は、センタードリルを軽く押し込みながら、刃先側から見て左方向に90度回転させて抜き取ります。(センタードリルは押し込みすぎると回転しません)

